

会 長 指 針

「躍動」～親睦と奉仕～

会長（理事） 吉 川 順 介

はじめに

会長に指名されて月日を重ねるに、体力、気力に注意をしていたが、会長エレクト中に体調を崩し。約4カ月の療養を要した。気力も体力も失せていたが、皆様方の友情と奉仕をもって回復することができ、今年度会長を務めることとなった。

歴史と伝統ある、京都東ロータリークラブの第62代会長として、地区の他クラブの模範・魁となるように、努力する所存である。特に今年度は当クラブは、地区ガバナー田中誠二氏を輩出し、地区大会を開催し成功させねばならない。

本年度 RI 会長イアン H. S. ライズリー氏は、「ロータリー：変化をもたらす」をテーマに。田中誠二ガバナーは、「愛着と誇り」を地区スローガンにされました。共にロータリー創設100数年を経て少しずつ減少傾向の会員数、会員の高齢化の中でいかに今後はロータリー活動をすすめるかを指針とされています。

それで、本年度会長テーマとして、「躍動」～親睦と奉仕～を提唱します。我がクラブが、停滞することなく、伝統を守りつつ、たゆみなく活動・跳躍行動するため、更なる親睦を深めその上に自我―他我の奉仕を押し進めるつもりである。RIの方針では、会員増強、高齢化防止のため、今までのロータリーの常識、規定を変化させてもよい、スタイルに融通を効かしてもよいと言われてます。当地区97RCの中には、20名弱のクラブもあるのが現実です。当クラブも100名を割り込む会員数で、ここ数年経過してます。しかし私は、いまの当クラブの伝統を崩すことなく、会員増強をし、更なる会員の親睦を深め奉仕を行いたい。

ガバナー輩出の当クラブとしてこのテーマを皆様方の友情で押し進めなければ面目がたたないし、是非「躍動」のもと親睦と奉仕で地区大会の成功をめざしたい。もちろんロータリーの5大奉仕の充実を行い更なる当クラブの発展をめざし、他クラブの模範となる輝くクラブに皆様方の協力をお願いしたい。

最後になりますが、この1年間皆様の理解とご指導を賜り、ロータリーの目的を共有して力を尽くす所存であります。宜しくお願い申し上げます。

基本方針

- 1 例会を通じ親睦を深める。
 - 1) 適材 適所な卓話のゲストを選ぶ
 - 2) 会員の卓話実施
 - 3) 健康ランチを充実さす。
 - 4) 月1回指定席を設ける
 - 5) 夜間例会 ワインコンサートの開催
 - 6) 百万ドルミールの実施
- 2 奉仕の充実
 - 1) 充実あるクラブ奉仕をめざす。
 - 2) 職業奉仕の実践 参加
 - 3) 社会奉仕の充実一里山整備等
 - 4) 国際奉仕を充実一国際大会参加（オンツアーカナダ）
 - 5) 青少年奉仕を行い青少年の育成をはかる。
- 3 寄付行為
 - 1) ロータリー財団への寄付 \$ 180/人以上を計る
 - 2) 米山奨学金一米山月間での更なる援助を
 - 3) 国際善意基金
 - 4) 平澤基金
- 4 継続事業
 - 1) ファイヤーサイドミーティングの開催
 - 2) 年忘れ家族会の更なる充実
 - 3) 親睦旅行の開催
 - 4) 三東会（大阪東RC 神戸東RCとの友好クラブ）の開催
- 5 重要課題
 - 1) 会員増強ーゲストとして招聘 パンフレット作成等 ホームページの充実
 - 2) ポリオプラスの継続
- 6 地区事業
 - 1) IM 参加
 - 2) 地区大会参加とPR活動の実施